

津山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	国語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0001		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	総合理工学科(先進科学系)		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 『高等学校 国語総合』『高等学校 古典B』(明治書院), 『新訂総合国語便覧』(第一学習社), 『漢文への招待』(桐原書店), 『熟語を音訓から学ぶ-品詞別-頻出漢字マスター3000』(尚文出版), 参考書: 『国語辞典』『古語辞典』『漢和辞典』(どの出版社のものでも良い)				
担当教員	杉山 明,常本美代子 (一般)				
到達目標					
学習目的: 現代の日本語や日本文学, ひいては日本文化の基礎となっている古典文学(古文・漢文)を学び, 感性を磨く。 読み, 書き, 話し, 聞く力, 文章を理解して考える力の向上を目指すと共に, 日本語に関する常識的な知識を身につける。					
到達目標 1. 現代の様々な文章を読み, 論理的かつ多角的な理解力を養うと共に, 柔軟な発想や思考力を育む。 2. 日本語に関する知識を拡充する。 3. 古典を読み, その価値を知ると共に, 日本文化への理解を深める。 ◎効果的な説明方法や手段を用いて, コミュニケーションを図れる。					
ルーブリック					
	優	良	可	不可	
評価項目1	現代の様々な文章を読んで内容を理解し, それに対して自身の考えを述べることができる。	現代の様々な文章を読んで内容を理解し, それに対して自分なりに考えることができる。	現代の様々な文章を読み, その内容を理解することができる。	現代の様々な文章を読もうとしない。	
評価項目2	自発的に日本語に関する知識を増やし, それを活用することができる。	日本語に関する知識を増やし, それを活用する努力をすることができる。	日本語に関する知識を増やす努力をすることができる。	日本語に関する知識を増やすという気持ちがない。	
評価項目3	古文・漢文を読んで内容を味わうと共に, その価値を知り, 日本文化への理解を深めることができる。	古文・漢文を読んで内容を味わうと共に, その価値を知ることができる。	古文・漢文を読んで内容を味わうことができる。	古文・漢文を読もうとしない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	一般・専門の別: 一般 学習の分野: 国語 必修・必履修・履修選択・選択の別: 必履修 基礎となる学問分野: 人文学/文学・言語学 学科学習目標との関連: 本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」「⑤グローバルな視点と社会性の養成」及び「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連: 本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力の育成」であるが, 付随的には日本文化への理解の深化が「(B) 地球的視野に立った人間性の育成」にも関与する。 授業の概要: 『国語総合』と『古典』の教科書を使用し, 現代文, 古文, 漢文の授業を行う。				
授業の進め方・方法	授業の方法: ・『国語総合』と『古典』の教科書を用い, 現代文, 古文, 漢文の授業を行う。 ・毎週, 漢字小テストを実施し, 適宜, 課題提出物を課す。 成績評価方法: ・成績は, 定期試験(80%) + 漢字小テスト(10%) + 課題提出物(10%)の合計から評価する。 ・定期試験は, 計4回実施し, その評価割合は同等とする。再試験は, 原則として実施しない。 ・漢字小テストは, 毎週授業時に行い, その平均点を成績に算入する。再テストは, 原則として実施しない。 ・課題提出物は, 長期休暇中や単元終了時等に課す。詳細はその都度指示する。				
注意点	履修上の注意: 本科目は, 2学年の課程修了のために履修(欠席時間数が所定授業時間数の3分の1以下)が必須の科目である。 履修のアドバイス: 次回の授業に向け, 作品に目を通すと共に, 音読練習を行い, 読めない箇所がないか確認すること。毎週漢字小テストを行うので, 必ず勉強して受験すること。また, 日頃から本や新聞を読んだり, 文章を書いたりし, 自身の日本語力を向上させるよう努めること。 基礎科目: 国語Ⅰ(1年) 関連科目: 国語Ⅲ(3年), 国語Ⅳ(4年), 日本文化論(4年), 異文化社会論(4年) 受講上のアドバイス: ・授業開始時刻に遅れた場合, 20分までは遅刻, それ以降は欠課として扱う。 ・欠課する(した)場合は, 欠課届あるいは公認欠課届を提出すること。漢字小テストは, 欠課の届け出がなかった場合, 当該のテストが0点となる。 ・積極的に授業に参加することももちろんだが, 日頃から様々な文章に触れ, 読む力や考える力を養うこと。 ・こまめに辞書を引き, 語彙を増やす努力をすること。なお, 授業中に辞書を引く場合, 携帯電話やスマートフォンの辞書を使用することは認めない。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		
		2週	[現代文] 随想		
		3週	[現代文] 随想		
		4週	[古文] 説話		
		5週	[古文] 説話		

		6週	[漢文] 故事・逸話		
		7週	[漢文] 故事・逸話		
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	前期中間試験の答案返却と解説		
		10週	[現代文] 評論		
		11週	[現代文] 評論		
		12週	[古文] 随筆		
		13週	[古文] 随筆		
		14週	[漢文] 史話・史伝		
		15週	前期末試験		
		16週	前期末試験の答案返却と解説		
	後期	3rdQ	1週	[漢文] 史話・史伝	
			2週	[現代文] 小説	
			3週	[現代文] 小説	
			4週	[古文] 日記	
			5週	[古文] 日記	
6週			[漢文] 漢詩		
7週			[漢文] 漢詩		
8週			後期中間試験		
4thQ		9週	後期中間試験の答案返却と解説		
		10週	[現代文] 評論		
		11週	[現代文] 評論		
		12週	[古文] 物語		
		13週	[古文] 物語		
		14週	[漢文] 文・寓話		
		15週	学年末試験		
		16週	学年末試験の答案返却と解説		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
<b>評価割合</b>							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	80	0	0	0	10	10	100
基礎的能力	80	0	0	0	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0